昭和二十五年（1950）定價一部一圓二十五錢　磐城毎日新聞　六月一日（日曜日）第18号（日刊）

磐城毎日

福島縣平市南町六六（平局區内）
社倫番
磐城毎日新聞社
株式會社
編集兼印刷人　遠藤孝
發行人
電話（平）一一二〇

讀愛御
下さい

開發（北海道）大博覽會

出品宣傳の協議會開く

平商工會議所では來る七月十五日―八月二十三日間行われる北海道開發大博覽會と七月二十日―八月三日十一日間行われる新潟産業博覽會に當地方名産を出品すべく日本水素（小名濱）クレハ化學（植田）品川白練瓦（湯本）江名加工組合等の參加を求めて十二日商工會議所に於て協議會を開くことになつた、北海道と本縣産の日本水素、呉羽化學製品は肥料藥品共に農業の北海道へは密接な關係あり全國を殘して歸平した通産局と一の消費地とあつては此の機會を逸すことは出來ない雪による開催不能と云う心亦品川白練瓦の大量消費地配がない、地理的にも氣候も日本製紙工場の大半を占めてゐる爲出來る限りの便宜用に振向けられ何れも重要な役割りがあり、本縣として縣當局を始め各關係者が出張特産品の大々的宣傳に乘出すことが必要であるし成果に期待されるものがある

給食、圖書充實を

要望事項決議さる

縣下五市の中小學校長會議は七、八日白河市立第一小學校で行われ學校給食、圖書充實、一學級兒童定數、養護施設、市街地に於けるカリキュラム編成上の特質等に付き各地の意見を交換後に▲教職員住宅の確保▲教職員の增加其の他六項目に亘る教育事業を關係當局に要望する事を決議した、なほ平市の二十五年度教育豫算は小學校二百五十万五百二十三円、中學校百五十七万四百二十二円で建築營繕其の他を含めると總額一千九百二十九万九千三百三十三圓となつてゐる

競輪場の許可

予想外早い見込

平市營競輪場新設について關場課長、渡邊技師と高木市議は八日仙台通産局に許可申請をなし九日關場課長

市政の功勞者

記念品贈られる

先般山形縣鶴岡市に於て開催された北海道、東北市會議長會に於て市政振興功勞者が表彰された、平市關係金古政通、松本金市郎、馬目武之助、木村諄、石山一治、吉田喜代治、小松茂、柴田德二、佐藤清吉の九氏が表彰、記念品を贈呈された

生活保護者

實態調査始む

市社會課では被生かつ保護者の實態調査を行つて居るが去る九日係員三名が飯野支所管内に出張し戸別的に各部面にわたり調査し其の實態を把握して保護の徹底を期することになつた

社說

スターリン　國外旅行

外電の報ずるところによるとクレムリンの奥からめつたに外へ出ないスターリンが支那へ視察したと報じてゐる、謀略とスパイ網を世界の隅々まで張りめぐらして刻々と入る情報によつて世界の動きを識り、それに逆手を打ち、一貫した赤化宣傳以外に何にものをも考えない國、ソ連では外交官と船員それにスパイ以外は關係國より一歩も國外へは出入してゐない、所謂鐵のカーテンで鎖されてゐるのだ、外國を知らぬ國民である、そして國民は牧野の牛や馬と同樣な人間の自由を持たない生活にその日其の日を送つてゐるのだ、そんな國民だから日本や獨乙の捕りよに對しても五年も抑留して置く、人道上の問題を顧てゐないのだ、一切がスターリンの命令である、そのスターリンも情報以外は世界を知ることは出來ないでゐるのだ何となればスターリン政策に不利な情報の提供や意見を出す者があればそれは反スターリン主義所謂反動として地上から抹殺される運命にあるからである

それは日本の戰時中の軍部の獨裁と同じくスターリンの獨裁政治であるからで、この何れとも相容れない獨裁者スターリンが國外に一歩でも視察をしたと云うことは有意義なことだ、例え支那であらうと自由のある、世界の一端を視ることが出來た譯であるソ連の國民が自由ある世界人類の社會生活を熟知してくれるならば抑留者未歸還と云つた世紀の悲劇は起らないのだ、何を云つたところで取り合ないソ連のことである、國外と交活さいするならば獨裁者とその一黨も自つと世界の眞の姿も判然とするし無茶もなくなるのではあるまいかと、慘忍な彼等の仕打ちを思う時見せてやり度いものは民主々義國資本主義社會の自由な世界である若し國民をして現實の國外を見せるならスターリン帝國は崩壞して冷たい戰爭なぞ吹き飛んで世界の平和が出來るからである

學校衛生協會

石城支部發會さる

日本學校衛生協會石城支部ではこのほど管内一〇七校の同協會加入が本極りとなつたので同協會石城支部役員の初顔合せ並びに二十五年度計畫協議會を開いた支部長は日野好間中校長である、又同平支部では早くから結成し市内十四校のため衛生活動を行つているが、同支部長は服部平商校長である

基金造成に

ビリカ孃公開

平地區司法保護委員協議會では資金造成のため、松前學町民の要望によつて誘致されたもので開店以來利用者と預金率も多く支店長會田勝氏は忙しくて困る位ですと嬉しい悲鳴をあげている

失業保險打合

石城郡内百二十名の事業家は十日午前十時より平市勞働會館に失業保險打合せ會を開催した

小島部落の合併

潛航運動旺んに

小島部落平市合併問題に就て部落民はその後各方面に氣運を醸成すべく運動されてゐる模樣である、何と云つても内郷町議の決議に待たなければならず部落民の希望が果して容れられるかどうか、財産その他の處分と云う重要問題もある以上分離合併はなかなか實現不可能視されるものがある

農地の潰廢

審議會農委で

平市農地委員會では十二日午后一時より市役所に定例委員會を開き農地の潰廢九件の許可申請について審議する

心細い引揚住宅

十戸分許可

平市では海外引揚者住宅の早期建設をめざし過般百十戸の許可申請中だつたが此の程其の十分の一にも滿たない十戸だけ許可になつた

庶民住宅七十戸

新築月末に着手

平市の庶民住宅は新築六十戸轉用十戸總工費一千百三十五万円で八幡小路正内町、上河原等に計畫中のところ愈々今月末頃から着工することになつた、現在庶民住宅使用申込み者は三百人を數え深刻な住宅難を物語つてゐるが、過般來平した縣井上建築課長も平地區の住宅難の深刻なことを認めて歸廳次第善處したいと語つて居り、近く何らかの處置がとられるものと見られる

中小商工業者

懇談會〝内郷〟

内郷公民館では來る十二日浅野記念館で町内の中小商工業者の懇談會を開くことになつた、中小商工業者の現在困つている金融面及び今後の發展策につき業者の意見を徵し町政の面に反映させようとの試みである

東邦銀行内郷

支店披露式

六月一日から開店された東邦銀行内郷支店は明十二日浅野記念館で開店披露式を擧行する、尙同店は長らく席のため福島へ出張、十五日歸平の豫定

△敎育委員會事務局石城出張所長漆田玄吉氏は昨十日着任關係方面へ挨拶廻りを行つた

△鈴木辰三郎平市長は福島へ出張中の處本日歸廳

△石城郡農業共濟組合赤津支部長は明十二日午前十時より福島で開かれる煙草共濟事業に關する打合せ會に出席するため本日出福す

人事ニュース

繭出荷打合會

明十二日午前九時半より地方事務所

繭絲課に於いて繭出荷打ち合せの技術員會議を開く

農地權利書

一千筆登記完了

平市農地委員會では農地法施行から本年三月迄に一千筆七十五町歩に及ぶ賣渡登記事務を完了し、去月初旬から市役所内同會事務所に於て權利者に對して登記權利書の交付を急いで居るが未だに其の半數以上の百五十五名が受取らず支障を來たして居るから受取らない者は十四日迄に必ず受取られたい

PTA會

本日午後三時より平第三小學校で

市内小中PTA會長聯合會を開催する

空氣は目に見えないが我々の生存上欠くことの出來ない一要素である、然しその恩惠が餘りにも大で豐富である爲吾人は兎角その有難さを忘れ、その存在すらも忘れ勝ちになる「時」も亦目に見えないものであり、而も我々の生活上餘りにも貴重である爲め、無意識に浪費されているものではあるまいか「時は金なり」と古くから言はれているが時間について無頓著な人は案外多く從つて非科學的な非能率的な生活をしている、文化の水準が低いと言はれる原因も此處に存するのではなかろうか、最近非常に多くなつた各種の集會會合等で痛感させられる時の記念日に際し時間に對する觀念をお互に新たにして自已に與えられた現在の時間を、最大限に利用し、かつ用して過去に悔を殘さぬよう心掛けよう

室内放送

學習旅行

平三小・六の一　本道南

僕たち六年生は石灰岩の勉強に大瀧根山にいつた、八時三十分の汽車で平を出發した、汽車の中はとてもおもしろかつた、僕たちはよそのおじさんに大瀧根山のようすをききながら神また驛でおりたこんどはいよいよ石灰岩へいくのだ僕は心がわくわくしてとてもうれしかつた、途中にはきれいな石がたくさんおちていた石灰岩についてから石灰岩にはたらいている人に石灰岩についておはなししてもらいました、いよいよおべんとうをたべる時間がきました風はさむくおべんとうはごみがたかつてたべられないくらいでした、たべをわつてから鬼穴を見にいきました、ローソクがないので火をたいて十人ぐらいづつ五米くらいはいつた高さはひくく長さは六〇〇米もあると木村先生がおつしやつた中はまつくらできもちがわるかつた、こんどはいよいよ入水しようにうどうへいくのだ山はさかでとてもくつたびれた、入水しようにうどうへいつてから瀧根町瀧根小學校長田島先生に入水しようにうどうについてお話をしてもらつた、田島先生のお話によると長さはの夜ごはんは家内中で僕のたしやつた、お話によると中は五重のとうの樣なかたちもあるとおつしやつた、お話が終ると僕たちはいつて見たくなり友達とはいつて見た、すこししかはいらないけどとてもおそろしいようだつた、中は風がふいていていきをふくと息が白くなつてしまうほどきむかつた、僕は奥まではいつて見さ早く先生のうちへいきました、ちようど先生はしたためになるえいがだつた、終つてからぼくもあんなけんきゆうをしてみたいなあと思つた、きよしつにかえつてきたらみんながさわいでいるのでなんだと思つたらえいがでみたのよりも小さいからあげはちようではないと思つたが、どんなちようがうまれるかたのしみになつた

えいがきよう

しつのこと

平一小・二ノ二　じつかわせいどう

きようはたのしいえいがきひらとんでいてたまごをうむところから大きくなるまでのようすで、すいぶんたくさんのこしたかわいそうなところもあつた、あげはちようはきれいなちようがひらひらとまつていたりしてけんしやにきたら、ちようどまにあつたえいがはきえた子うしとあげはちようだつた、きえたこうしはかわいそうなとうはきれいなちようがひらんとんでいてたまごをうむところから大きくなるまでのようすで、すいぶんたくさんのこしたかわいそうなところもあつた、あげはちようはきれいなちようがひらひら

漁業特報

カツオ、サバ漁好調
各漁場愈々活氣付く

カツオ、ブリ獲鰯刺網漁業は前年度と比サバ漁は六月較にならず小名濱五統江名に入つて愈々濱一統が菊田浦乃至中之作活發化し漁獲沖合十五哩附近に出漁した は本格的になり が不調で漁獲高は小名濱千 り九、十日と貫江名濱百九十九貫の僅少 縣下七濱で相振りであつた、定置網漁業 當の水揚高を示してゐるが、このほど縣水産事務所にまとまつた五月一日から末日現在の集計によると五月中の天候は上旬頃低氣壓襲來で時化た外一般に晴天の日が多海況は概して平穏主に漁獲された魚種はいわし、あじ、さばた、各港別に漁獲高をみる等で主として縣沿岸定置漁業に依つてゐる、ビンチョウマグロは縣沖合で底曳漁船によりかつをは縣沖合五〇―一〇〇浬及び日立沖合五〇―六〇浬の漁場で漁獲高は前月に比して五月六六、三一六貫に對し五月は三九四、九九二貫に半減した理由は底曳漁業が終漁期に近づいたため出漁船が激減したためであるかつを及び定置漁業は比較的低調だつたが一方マグロが今年の暖流（例年より早く五月に二十度の暖水帶）と共に北上したため豫想外の獲漁を見又中旬頃から北海道の漁場へ出漁せんとした旋網漁船團が、偶々回遊してきたサバの大群に遭遇し千五百貫を揚げ北海道に出漁中の旋網漁船まで引返したなどの異例もみられた、五月中實施された漁業を實況別にみると底曳漁船は、小名濱港から四十八隻江名濱百二十八隻で總水揚高は小名濱が十六万五百五十貫となつて居り漁場は四日同様縣下沖合で操業したが餘り香しくなく一部の底曳船が算盤がとれずマグロの一本釣に早替したが漁獲は好調をみせ一雙當り五千貫以上漁獲した船主も少くなかつた、カツヲ群も例年より早いマグロと共に北上し漁場は鹽屋岬沖五〇―一〇〇哩日立沖五〇―六〇哩水溫二〇度附近で小名濱五統江名濱から十四統が出漁操業したが初めエサ付が悪く後半にいたつてとり戻し小名濱一万五千貫江名濱二万三千貫の漁九千三百二十一貫その他の曳網五三五隻で五万五千二百四十二貫定置網二百二十隻で三万九千六百六貫カツヲ、マグロの一本釣十二隻二万八千九百五十三貫延縄によるもの百十五隻で一万三千百七十六貫旋網二十隻八千三百七貫水産動物（タコ、イカ、エビなど）の漁獲高は江名濱十七万五千八百四十三貫小名濱十二万九千八九十三貫中村（原釜）二万二千四百九十一貫久之濱一万九百三十貫次が四倉、豊間百四十四貫勿來九千五の順となつてゐる、漁介藻類はワカメが主で勿來の三百七十七貫である六月に入ればビンチョウマグロ、カツヲ、サバ、ブリ等の漁況が頗る有望なので今月は濱の不況の聲を幾分でも緩和するものと相當期待されてゐる

六月分砂糖は
登錄小賣店から

去月十三日付砂糖需給調整規則の一部が改正され舊購入通帳の砂糖購入券は五月分で終了するので六月分の配給は新購入通帳の登錄小賣業者より購入することになる切換準備の關係上實際は七月から實施される

市内にも赤痢

失業者が續出その數を増加し問題は益々深刻化してゆくのに伴い國家が生活を保護すべき者の對策について市町村長と職業安定所間に連絡を保つて出來るだけ仕事の斡旋をすることになつたが、事實に於てそれらは思はしくない、失業問題が深刻になればなる程生活保護者の位置にある者が落しつゝあることの事實はどうした譯か、これに氣付いた勞働省では職業紹介の事務取扱を改正し就職斡旋の方策について、改正の趣旨は保護關係者と連絡を密にし就職隘路を開くと云うのにあり之れが眞實運用されるならば幾多失職者が救われることになる、果して主旨通りゆくかどうか折重なつてくる對策よりは一般失業者は直ぐにもあり付ける職を要求してゐるもので職よこせと追る勞務者より戰災引揚者や行政整理の犠牲者が如何に悲惨な生活のうちに賴りないその日その日を送つてゐることか、市町村役場に積極的な活動を要望する聲が高い

生活保護者の就職
職安に市町村も協力

赤痢續發に
水菓販賣禁止

石城郡豊間町八幡町六八菅原基子（三ツ）ちやんは九日同町醫師の診斷の結果赤痢と決定、直ちに隔離されたが同町の赤痢羅患者が三名に増えたので平保健所では管内初めて同町内アイスキヤンデー製造販賣並びに行商の營業を禁止した

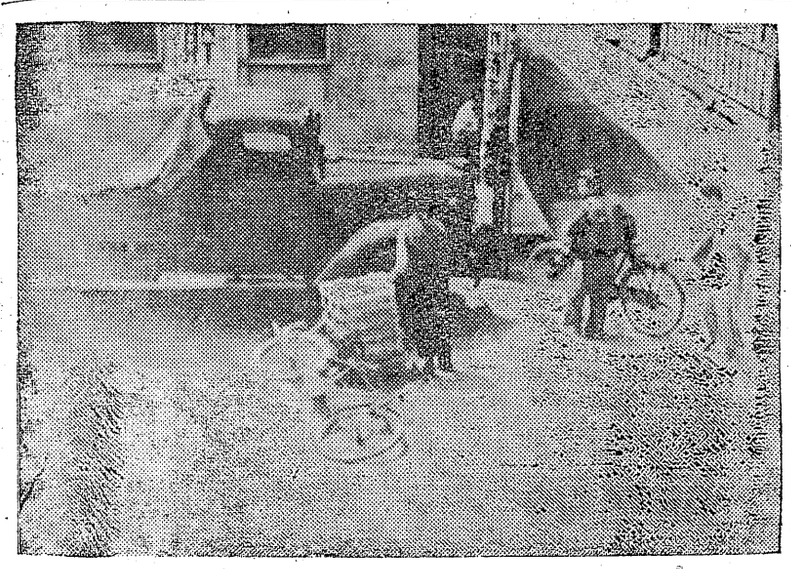
少年演劇團
十八日公會堂に

縣教育委員會では福島民友社後援のもとに父兄の演劇に對する理解を求め亦學生演劇の向上を圖る爲め來る十八日午前九時から午後一時まで二回に亘り公會堂で演劇會を開く、出演東京少年演劇團、一―コックの王様、二―ぶす、三―學校演劇の有り方についての討論會

各選手遠征

昨十日午前七時二十一分發で磐女高排球部十二名は中村町に於ける全日本バレーボール選手擊大會並にバレーボール選手權大會に出場のため出發した

十一日午前五時四十分發郡山市に磐女高テニス部四名はマ杯軟式テニス縣豫選會出場のため出發した



△△△△